

第29回広島県社会保障推進協議会総会を開催！ 鈴木勉佛教大学名誉教授が記念講演、34名参加！



第29回広島県社会保障推進協議会総会を、7月15日（月）広島ロードビル3階会議室にて開催しました。大畠順一運営委員（広島市社保協）の司会で、講師の鈴木勉先生（佛教大学名誉教授）の紹介の後、講演会を始めました。テーマは「新自由主義福祉改革に対抗する社会的ケア」で、鈴木先生は、アマルティア・セン（インド出身・ノーベル経済学賞受賞）は「福祉（well-being）とは何か」との問いかけに、「capability(潜在能力・才能)の全面的な発達」であると述べた。センが登場する以前は、何をもって福祉が実現したかを巡って、福祉経済学（厚生経済学）では、①福祉を財や所得の大きさに測る主張（福祉の富裕アプローチ）②満足度で測る主張（福祉の効用アプローチ）という議論があったが、センは③手に入れた財や所得の特性を活用し、人が達成しうる機能（doing=人が成しうるもの、being=なりうるもの）すなわち人の生き方やあり方に関心を集中する視点を提起し、自らの方法を「福祉のケイバビリティ・アプローチ」と名付けた。作家の大江健三郎（同じ時にノーベル賞受賞）は「伸びる素質」と意識しました。これに従えば、福祉とは誰にも備わっている「伸びる素質」が全面的に発揮されることであり、これを例外なくすべての人に保障することが、社会的に福祉が実現した状態と捉えられる。と説明しました。

続いて、世界の新たな支配的なイデオロギーとして新自由主義が登場、1979年イギリスのサッチャー首相（小さな政府・反福祉国家）、81年アメリカのレーガン大統領（規制の撤廃と自由競争の促進）、82年中曽根康弘首相（国鉄、電電公社、専売公社の民営化、日本航空の民営化）の時代であった。その後、我が国において、新自由主義改革が全面発動するのは、97年橋本龍太郎内閣の6大改革（経済構造改革：高コスト構造の転換、新事業・新産業の育成、社会保障構造改革）である。新自由主義とは、産業革命期の自由主義とは異なり、国家の機能を使って市場優位体制を確立させること。

新自由主義は開発・成長とグローバル化によって極端な貧富の差を生み、深刻な社会の分裂・解体（家族のコミュニティを弱める）をもたらしたが、新保守主義はこれによって失われた家族・地域などの共同体の再建を唱えるイデオロギーである。自民党右派の主張。

新自由主義福祉改革のトップランナーとして、介護保険制度（80年代には検討されていた）が2000年に施行された。問題点は①措置制度を廃止し、財源の半分を新たな国民負担（介護保険料）に置き換えた。②措置から契約制度に切り替え市場化（福祉の非営利原則を否定）。③提供される在宅介護水準の低さ（家族介護支援の域）。④自己負担の応能負担から応益負担に切り替え。この介護保険制度によって、障害者福祉制度がゆがめられてきている。

講演時間の都合で途中切れになったが、

「相模原障害者施設 津久井やまゆり園」殺傷事件以降、植松聖死刑囚の支持者が多く存在すること、優生保護法違憲判決に対し、手術は必要とのネットでの書き込みが一定数存在していることが語られた。

私見ですが、長年に渡る、新自由主義的競争社会の中で格差と貧困が広がり、自己責任論がまん延し、人が人として大事にされていない現実に驚きました。人権や倫理の課題と殺伐とした世情が突き付けられているわけで。わたしたちには、このような現実に対峙する運動と連帯が求められていると感じました。（文責 花岡利明：福山市社保協事務局長）



第29回広島県社会保障推進協議会総会

休憩の後、藤原克彦氏（広島中央保健生協事務局長）を議長に選出し総会に移りました。議事では、村田良二氏（広島民医連事務局長）が報告と提案を行いました。

2023年、前県社保協事務局長の退任を受け、事務局体勢の再構築に向けた議論を行って来ました。中央社会保障推進協議会が提起する運動や方針に沿った取り組みは、ほとんど出来ませんでした。各加盟団体には取り組むべき運動課題があることを踏まえ、無理なく出来ることをすることが共通認識になりました。

事務局体勢は、事務局長1名、次長2名（総務、会計）とし、任務分担を図ることとしました。機動的な運営をするため、運営委員を出せない団体には賛助会員として登録していただくことにしました。そのため、規約改定を行いました。

続いて、作田訓洋氏（広島県商工団体連合会）が会計報告を行い、植永光則氏（広島県労働組合総連合）が会計監査報告を行いました。

最後に役員提案では、2006年から代表委員を務めていただいた佐々木宏先生（現北海道大学教育学研究院准教授）が、2024年3月をもって広島大学から北海道大学へ転任されたことの報告があり、鈴木勉先生に代表委員を引き受けていただくことになりました。

質疑では、賛助会員についての質問がありましたが、すべての議事を拍手で確認し、総会を終了しました。

※選出された役員

代表委員：鈴木勉（個人） 事務局長：村田良二（広島県民医連）

事務局次長：作田訓洋（広島県商団連）、煙崎久美子（広島県医労連）

運営委員：九内康夫（障害者と家族の暮らしと権利を守る広島連絡会）

大島順一（広島市社保協・介護保障を求めるひろしまの会） 有馬陽子（広島県民医連）

本田竹邦（全日本年金者組合広島県本部）

会計監査：植永光則（広島県労連）